

職員による自己評価

A環境面

活動は確保されており、事業所内はスロープ・手すりが設置されており、設備のバリアフリー化もされている。

B児童への支援内容

活動プログラムが固定化されない様に、職員間や活動専門講師ともに児童の特性に合わせたプログラム内容を計画している。

C関係機関との連携

保護者とも連絡とっており、学校・関係機関との連携もとれている。医療的ケアが必要な現在利用者がいないため主治医等との連絡体制はない。

D保護者への説明責任・信頼関係

契約時に説明を行ってます。また、随時不明な点は職員室が説明している。

E非常対応

非常時マニュアルがある。

保護者による評価

A環境面

活動スペースが十分に確保出来ており、施設バリアフリー化や安全な配慮がされています。

B児童への支援内容

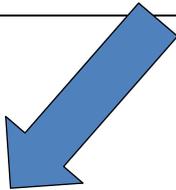
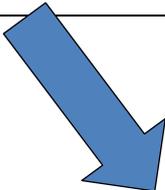
毎回プログラムが工夫されていて子どもも楽しみにしています。

C事業所からの情報発信

子どもや保護者との意思疎通や情報伝達は日頃から出来ている。毎月会報も配られ、通所変更はメールや電話対応してくれています。

D非常対応

非常時のマニュアルについては保護者への周知もまばらである。



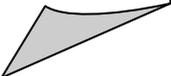
事業所内での分析

【共通点】

環境面では職員、保護者共に整っていると評価しており、活動プログラムも書道、リトミック、空手、プールといった専門講師を取り入れ、児童や保護者など今までに出来なかった活動により共通の話題作りなど出来ている。

【相違点】

非常時の避難場所・保護者の引き渡し方法などの体制や、保護者にむけてマニュアル等に関しては十分とは言えない状態にある。



分析・検討してみたて…

事業所の強み

児童への支援体制は設備、職員、活動プログラムなど整っており、個々の保護者との関わりも日頃から出来ている。

事業所の改善点

保護者全体にむけた周知や情報の伝達は改善の余地がある。

事業所の改善への取り組み

緊急時の連絡・訓練などの方法の周知や、訓練内容の報告を検討していきます。
緊急時対応マニュアル等を策定について保護者に書面などで知らせる。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者や職員からも児童体制、環境が評価されていることはとても良い事だと感じている。
保護者からの普段聞けない要望も聞く事が出来たので、今後も活動プログラムや支援方法を工夫して、お子さんが楽しみに期待して通える事業所となるように励んでいきます。